

株式会社 KAKEAI、コミュニケーションの個人知を データで組織知化し、ナレッジやベストプラクティスとして 展開・流通を可能にする特許を取得。

株式会社 KAKEAI（本社：東京都港区 代表：本田英貴）が、職場・教育現場・接客/顧客対応・家族間等のあらゆるコミュニケーションシーンで活用可能な、「人への関わり方の個人知をデータで組織知化し、ナレッジやベストプラクティスとして展開・流通」を可能にする特許を取得したことをお知らせいたします。

● 発明の背景

価値観や、ライフスタイルや、文化的背景等々の多様化が急速に進む昨今、コミュニケーションの難度は向上し続けています。

また、職場・教育現場・接客/顧客対応・家族間等で日々行われている、相手への「良い関わり方」も「そうではない関わり方」も、主には個人の経験としてのみ蓄積され、限られた属人的な方法でのみ展開・流通されることがほとんどです。

テクノロジーが進化しても、人が人と関わらずに生きていくことはできません。

AI 時代における、人だからこそできる相手への最適な関わり方という個人知を、誰もが活かせる状態の組織知化することを目的に発明しました。

● 特許の概要

何かしらの方法で得られた、どのような特徴の人が（X さんとする）、どのような特徴の人に対し（A さんとする）、どのような状況で、どのようにに関わり、それを相手（A さん）がどう感じたかというデータをもとに、X さんや A さんと近い特徴や状況にある人（X さんでもよいし、Y さんでもよいし、A さんでもよいし B さんでもよい）に対し、相手への最適な関わり方を提案する。

● 『KAKEAI』での活用（まずは職場から）

労働力人口減少、雇用流動化、多様化等の環境変化に伴い、従業員の“顧客化”が進行しています。

企業は、従業員管理ではなく、従業員体験（エンプロイーエクスペリエンス）向上へ意識を向け始めているにも関わらず、まさに“顧客的捉え方をすべき従業員”一人ひとりと最前線で日々対峙している現場の管理職は、ハラスメント・労働時間・リモートワーク等への対応をも迫られ、個のマネジメント難度は高まるばかりです。

まずは、現在「エンプロイーサクセスのための AI プラットフォーム」として提供中のソフトウェア「KAKEAI」に対して実装し、個のマネジャーに眠るメンバーへの関わり方という個人知を、世界中のマネジャーが最適に活かせる状態を創出し、働く一人ひとり・チーム・社会の力を引き出します。



● 株式会社 KAKEAI について

【受賞歴】

●日本企業で初めて世界の HR tech スタートアップ 30 社に選出され、世界最大級の HR tech イベントである「HR Technology Conference & Expo」内にて開催される「2019 HR Tech Pitchfest」に登壇

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000041953.html>

●HR tech GP 2019 最高賞グランプリ

<https://hrtechnavi.jp/news/hrtechgp2019grandprix/>

●第 4 回 HR テクノロジー大賞 注目スタートアップ賞

https://www.hrpro.co.jp/hrtech_award.php

●週刊東洋経済 2019 「すごいベンチャー100」選出

【本社】東京都港区赤坂 8-5-40 ペガサス青山508

【設立】2018 年 4月12日

【代表】代表取締役社長 兼 CEO 本田英貴

【資本金】71,993,200 円

【株主】当社役員、MIC イノベーション 4 号投資事業有限責任組合（モバイル・インターネットキャピタル株式会社）、鬼頭秀彰（元 株式会社リクルートホールディングス 常務執行役員）、他

【顧問】駒野宏人 | 岩手医科大学 薬学部神経学分野 教授（脳神経科学）

【共同研究】岩本 隆 | 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 特任教授（HR tech）

【アドバイザー】William Laurent | ニューヨーク大学（AI トランスフォーメーション・データサイエンス）

【特許】特許第 6651175 号、特許第 6534179 号、特許第 6602996 号、特許第 6602997 号

【TEL】03-6721-1176

【URL】サービス：<https://service.kakeai.com/>

株式会社 KAKEAI のプレスリリース一覧：https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/41953